

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、青年期の心の健康と対人関係をテーマとして、大学生対象の質問紙調査を実施し、理解を深めることをねらいとする。対人関係には、困ったときに周囲の身近な人に手助けしてもらい安心する、落ち込んだりしている時に、周りの人に打ち明けて、慰めてもらい、気分が回復するといったように心の健康を高める機能・側面を多く有している。一方で、周囲の対人関係の中で、落ち込み・不安などにつながるような経験をする人も少なくない。こういったポジティブな側面・ネガティブな側面の両面から理解をしていくことが、大切と考えられている。近年は、大学生の間で、SNSなど、コミュニケーションツールも多様化しており、そのような側面も、扱っていきたいと考えている。意見交換を積極的・円滑に進めたりするなど役割を担うことで、学びを深めていってほしい。

2. 授業の到達目標

下記のような点を修得目標とする。

1. 質問紙調査等を実施し、データを収集・分析できる
2. 研究倫理に配慮しながら、研究を計画し、データを収集できる
3. 自ら仮説を立て、扱う構成概念を明確に定義できる
4. 心理学的問いを解明するために、具体的な研究方法を提起できる
5. データ分析結果を科学的に評価し、批判的に検討できる
6. データ分析結果を総合的に考察し、立てた問いに対して柔軟な解釈を還元できる
7. データ分析結果とその考察を論理的にプレゼンテーションできる
8. 問題・方法・結果・考察へ分節化した実証研究の科学的レポートを執筆できる

3. 成績評価の方法および基準

授業内での発表、討議への参加により、総合的に評価をおこなう。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜紹介する

参考文献

適宜紹介する

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

グループ作業が多いが、グループ成員に頼るのではなく、主体的に学びに参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 関心テーマごとに検討をおこなう(グループ含む)
- 【第3回】 研究の進めについてなど
- 【第4回】 文献検索について学習する(予定:ガイダンス、変更の可能性もある)
- 【第5回】 グループごとの関連の文献を発表し、聴き手グループから、コメントを受ける
- 【第6回】 グループごとの関連の文献を発表し、聴き手グループから、コメントを受ける
- 【第7回】 グループごとの関連の文献を発表し、聴き手グループから、コメントを受ける
- 【第8回】 問題・目的をどのように導くのか・不足している情報はないか、検討する
- 【第9回】 研究計画書の作成について説明を受け、必要な情報・文献を考える
- 【第10回】 関連の文献・問題/目的について、グループごとに発表し、コメントを受ける(グループの進行状況により変更の可能性もある)
- 【第11回】 関連の文献・問題/目的について、グループごとに発表し、コメントを受ける(グループの進行状況により変更の可能性もある)
- 【第12回】 質問紙の作成についての留意点、項目の選び方等についても学習する
- 【第13回】 グループごとの研究計画書の発表・討議を通して、精緻化をこころみる
- 【第14回】 グループごとの研究計画書の発表・討議を通して、精緻化をこころみる
- 【第15回】 まとめと今後の進め方について(オンライン)